

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 FCM株式会社
 コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 市居 律雄
 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,593	16.6	529	423.6	579	351.9	361	487.0
26年3月期第3四半期	13,374	11.6	101	—	128	192.9	61	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	212.23	—
26年3月期第3四半期	36.15	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	10,905	—	3,629	—	33.3	—	2,130.31	—
26年3月期	8,999	—	3,291	—	36.6	—	1,932.10	—

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 3,629百万円 26年3月期 3,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	78.00	78.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	11.4	635	338.8	700	277.3	440	363.6	258.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	1,704,267 株	26年3月期	1,704,267 株
27年3月期3Q	484 株	26年3月期	425 株
27年3月期3Q	1,703,801 株	26年3月期3Q	1,703,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は売上高15,593,201千円(前年同期比16.6%増)、営業利益529,779千円(前年同期比423.6%増)、経常利益579,819千円(前年同期比351.9%増)、四半期純利益361,597千円(前年同期比487.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は4,472,600千円(前年同期比21.5%増)となりました。第2四半期以降、特にスマートフォンやタブレット端末向けの旺盛な需給を受け、非常に高い水準での工場稼働が続いています。一方、自動車・産業機器向けやエネルギー関連では、若干ながら見込みを上回る推移となっています。また、医療機器向けでも計画以上の出荷となっており、当該セグメントの経常利益は451,004千円(前年同期比558.1%増)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は11,120,601千円(前年同期比14.7%増)となりました。国内の銅建値が円安の進行に伴い上昇しながら推移していることに加え、建設・電販向けなどでは受注が回復し堅調に推移しています。また、異型線関連でも計画通りの受注・出荷となっています。その結果、当該セグメントの経常利益は128,815千円(前年同期比115.5%増)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	3,679,741	27.5%	4,472,600	28.7%	21.5%
電気機能線材事業	9,695,172	72.5%	11,120,601	71.3%	14.7%
合計	13,374,913	100.0%	15,593,201	100.0%	16.6%

加工売上高

単位(千円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,711,791	71.5%	2,161,972	72.9%	26.3%
電気機能線材事業	682,882	28.5%	802,172	27.1%	17.5%
合計	2,394,674	100.0%	2,964,144	100.0%	23.8%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は10,905,571千円となり、前事業年度末に比べ1,906,307千円増加しました。これは現金及び預金が684,193千円、受取手形及び売掛金が853,131千円、仕掛品が297,664千円増加したことなどによるものです。

負債合計は7,275,983千円となり、前事業年度末に比べ1,568,711千円増加しました。これは買掛金が1,343,980千円、未払法人税等が170,153千円、長期借入金が113,004千円増加したことなどによるものです。

純資産は3,629,588千円となり、前事業年度末に比べ337,595千円増加しました。これは、当第3四半期累計期間の四半期純利益と剰余金の配当などを反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて684,193千円増加し、931,039千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、897,988千円の収入(前年同四半期累計期間は250,888千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益556,850千円、減価償却費252,284千円、仕入債務の増加額1,343,980千円であり、主な支出は売上債権の増加額853,131千円、たな卸資産の増加額383,011千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出210,707千円などにより211,234千円の支出(前年同四半期累計期間は106,165千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入による収入300,000千円のほか、短期借入金の純減少額100,000千円、長期借入金の返済による支出173,440千円、配当金の支払額29,013千円などにより2,559千円の支出(前年同四半期累計期間は282,592千円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間においては、電子機能材事業のセグメントが好調に推移しました。携帯端末向けの需要が旺盛なことに加え、自動車・産業機器・医療機器向けなど各分野とも計画よりも増収となり、高水準での工場稼働となっています。第4四半期は、年度末の在庫調整に向け受注・生産のペースが落ち着いてくることを予想していましたが、足元では見込みよりも緩やかなペースとなっています。

業績予想については、平成27年1月14日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」の通りで変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	246,845	931,039
受取手形及び売掛金	4,682,657	5,535,788
仕掛品	169,676	467,341
原材料及び貯蔵品	286,771	372,117
繰延税金資産	15,196	28,269
その他	15,926	31,294
流動資産合計	5,417,074	7,365,851
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	787,332	754,775
機械及び装置(純額)	630,196	579,073
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	9,495	13,809
その他(純額)	90,785	104,197
有形固定資産合計	3,381,792	3,315,837
無形固定資産	9,379	9,896
投資その他の資産		
投資有価証券	27,876	36,680
繰延税金資産	153,918	161,649
その他	29,580	36,012
貸倒引当金	△20,357	△20,357
投資その他の資産合計	191,017	213,985
固定資産合計	3,582,189	3,539,719
資産合計	8,999,264	10,905,571

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,098,945	4,442,925
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	573,920	587,476
未払法人税等	37,677	207,831
その他	305,267	309,653
流動負債合計	4,115,810	5,547,886
固定負債		
長期借入金	1,150,488	1,263,492
退職給付引当金	364,578	392,890
その他	76,395	71,715
固定負債合計	1,591,461	1,728,097
負債合計	5,707,272	7,275,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,777,519	2,110,151
自己株式	△948	△1,055
株主資本合計	3,291,191	3,623,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	801	5,870
評価・換算差額等合計	801	5,870
純資産合計	3,291,992	3,629,588
負債純資産合計	8,999,264	10,905,571

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,374,913	15,593,201
売上原価	12,349,303	14,168,731
売上総利益	1,025,610	1,424,470
販売費及び一般管理費	924,426	894,690
営業利益	101,183	529,779
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	696	579
助成金収入	11,170	1,050
スクラップ売却益	22,666	52,085
その他	5,238	10,443
営業外収益合計	39,777	64,167
営業外費用		
支払利息	9,109	8,161
売上割引	2,674	4,264
その他	859	1,701
営業外費用合計	12,642	14,127
経常利益	128,317	579,819
特別利益		
固定資産売却益	-	179
特別利益合計	-	179
特別損失		
固定資産売却損	3,095	-
固定資産除却損	3,781	23,149
特別損失合計	6,876	23,149
税引前四半期純利益	121,441	556,850
法人税、住民税及び事業税	15,644	218,847
法人税等調整額	44,199	△23,594
法人税等合計	59,844	195,252
四半期純利益	61,597	361,597

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	121,441	556,850
減価償却費	319,418	252,284
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△58,790	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,412	28,311
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,219	-
受取利息及び受取配当金	△701	△588
支払利息	9,109	8,161
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,095	△179
固定資産除却損	3,781	23,149
売上債権の増減額 (△は増加)	△750,168	△853,131
たな卸資産の増減額 (△は増加)	145,747	△383,011
仕入債務の増減額 (△は減少)	441,536	1,343,980
その他	12,597	△22,544
小計	261,699	953,282
利息及び配当金の受取額	701	588
利息の支払額	△9,122	△8,198
法人税等の支払額	△3,707	△48,175
その他	1,316	490
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,888	897,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△921	△943
有形固定資産の取得による支出	△135,304	△210,707
有形固定資産の売却による収入	31,000	180
無形固定資産の取得による支出	△460	-
その他	△480	237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,165	△211,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△100,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△267,440	△173,440
長期未払金の返済による支出	△4,058	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,839	-
自己株式の取得による支出	△128	△106
配当金の支払額	△126	△29,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,592	△2,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△137,869	684,193
現金及び現金同等物の期首残高	927,135	246,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	789,266	931,039

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,679,741	9,695,172	13,374,913
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,679,741	9,695,172	13,374,913
セグメント利益	68,531	59,786	128,317

(注) 1.セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2.セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	4,472,600	11,120,601	15,593,201
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,472,600	11,120,601	15,593,201
セグメント利益	451,004	128,815	579,819

(注) 1.セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2.セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。